

Yamanakako Cycling Team

報告書

山中湖サイクリングチーム 上半期（2022年12月～2023年7月）活動報告します

【役員・スタッフ】

President 小野 明則

General Manager 野間 耕二

Press officer / Office manager 伊藤 和美

報告 : Sports director / Trainer 斉藤 清史

Manager 倉橋 弥佳子

Ass Sports director / BASE manager 宇治野 健

【選手】

岡崎 一輝 2005年生まれ 高校3年生(静岡県) ジュニア U19

平野 慎太郎 2003年生まれ 大学2年生(東海大学自転車部にも所属) U23

【スポンサー】

| | |
|-------------------|-------------------------------|
| ダラスヴィレッジ | 山中湖畔に立つ バーベキューレストラン |
| 山中湖村 | チームの拠点『山中湖村』“山中湖村を自転車の聖地へ” |
| iL CHIANTI BEACHE | 湘南でも数少ないビーチの上に立つレストラン |
| CHIANTI CoMO | 山中湖店 イタリアンレストラン |
| 富士急行株式会社 | 富士吉田市に拠点 運輸 観光 不動産 流通事業など地元企業 |
| 富士急ハイランド | 富士の裾野にあるアミューズメントパーク |
| 株式会社総合保険企画 | 日新火災海上保険株式会社の代理店 地域住民を支えている |
| インターマックス | 自転車と関連商品の輸入商社(今中 大介 代表取締役) |
| 山中湖サイクリングベース | チームが運営する「レンタルサイクル部門」 |

【協力】

九十九サイクルスポーツ (Kalavinka) 東京都目黒区 自転車フレームメーカー
アールアイ株式会社 本社：埼玉県川口市本蓮 建設器具の設計製作・販売・賃貸・修理
Leap Hamamatsu Cycling Team (静岡県浜松) 民宿やすま (沖縄) Ryukyu
United Racing (沖縄) 地元山中湖村の皆さま 他 (書ききれず失礼します)

【自転車ロードレースの説明】

UCI（国際自転車競技連盟）の傘下に 各国 日本自転車競技連盟（JCF）も位置します

自転車レースは 幼少時期からジュニア アンダーエイジ カラダの成長期の過程を経て 成長期の「体力差」の考慮 育成期を測り 各年齢域でのレースが組まれています

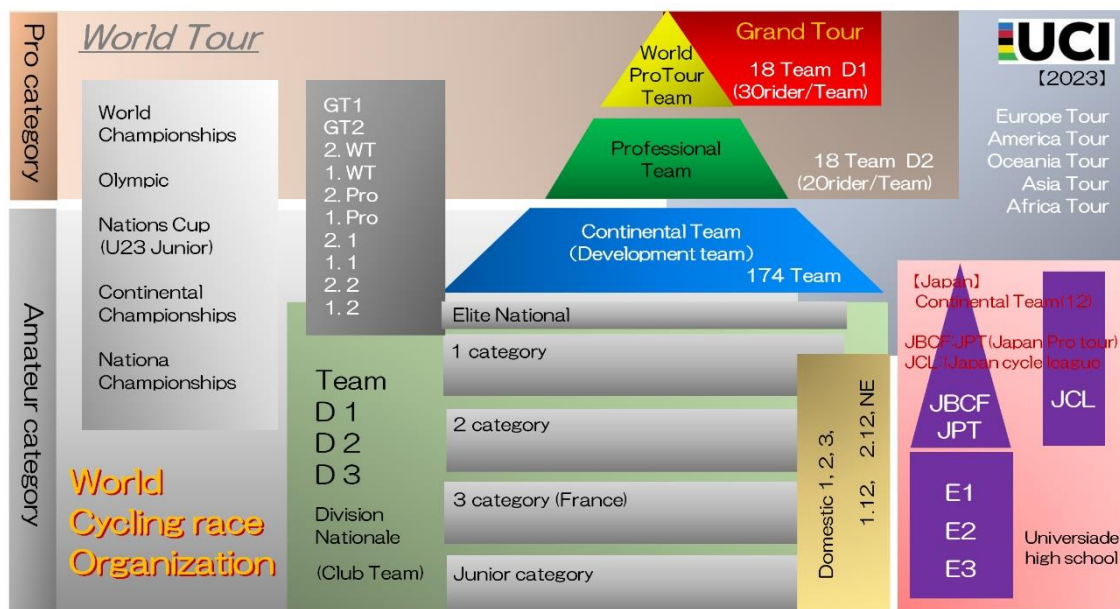
U15（13歳 14歳）自転車レースを始める年齢（2年間）

U17（15歳 16歳）チームに所属し 競技として自転車レースを開始する（2年間）

U19（17歳 18歳）「ジュニア」カテゴリー 世界選手権が生まれ 育成期（2年間）

U23（19歳 20歳 21歳 22歳）プロ選手へ臨むための期間（4年間）

世界の自転車レースの仕組み（勝ち上がる表）



国内リーグの説明

日本では「JBCF（JPT）」と「JCL」2つの国内リーグがあります

JBCF カテゴリーでは「E3」より参戦し レースの成績より「勝ち上がり」E2→E1へと昇格する仕組みです

社会人選手の多くが レースを楽しむカテゴリーとして「E2 E3」があります

「E1」では 勝ち上がってきた社会人選手 また元プロツアー選手 大学の自転車部の選手 挑戦するジュニア選手が ガチで勝負しているカテゴリーです

岡崎選手は「E1」が主戦場になります

※国内外「コンチネンタルチーム」JPT 選手 JCL 選手は「プロ契約」給料で走る選手

【2023 年度 日本代表】

2022 年 8 月より引き続き 2023 年度 岡崎一輝 ジュニア日本代表選手（全日本強化指定選手）ナショナルチームに選出されました

昨年の（韓国開催）ネイションズカップに引き続き 今季 5 月（フランス）ネイションズカップ日本代表選手として遠征 3 ステージレース「Trophée Morbihan Juniors（仏）」に参戦し完走 レースの内容では 勝負に至るまでの戦績ではありませんが 貴重なレース経験を積むことができ 今後ヨーロッパで走るための経験を身に着けることができました

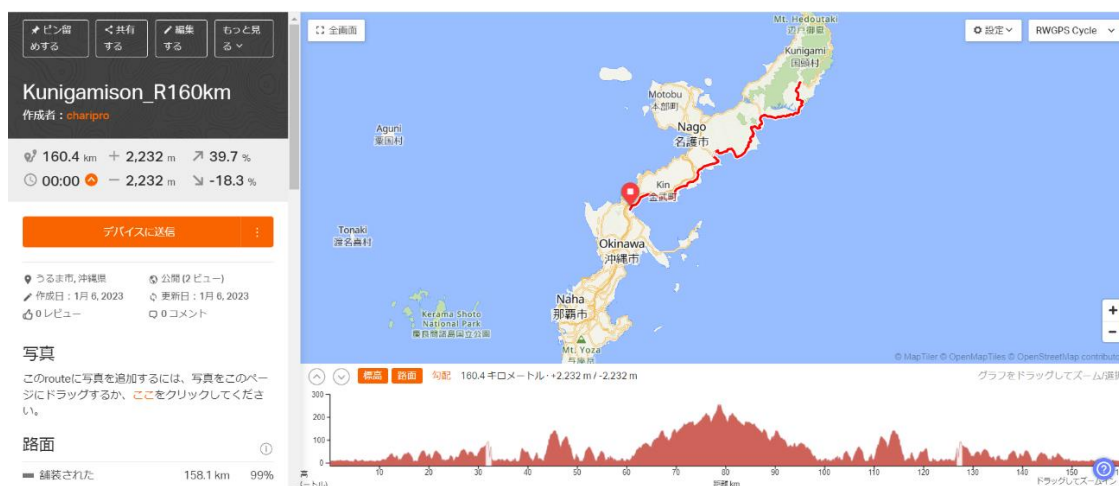


※ネイションズカップ：サッカーで言う「ワールドカップ」ジュニアカテゴリーに相当

【活動報告】

沖縄合宿

昨年 2022 シーズンオフを経て 年末 12 月の沖縄合宿より 2023 シーズン開始
まずは「乗り込み」1 日 150 km / 1 週間のメニューを組み実施 地元の選手にも参加し
てもらおうなど 地脚を創る（基礎のカラダを創る練習）



スケジュール

今季（2023 年）年間レーススケジュール「国内 40 レース」を組む

2 月よりトレーニングレース参戦

AACA 岐阜長良川 国内プロツアー選手も参戦する 100 km オールフラット

修善寺ウインターロード 修善寺 CSC（最大勾配 12%） 国内プロ有力選手参加 2 位

招待レース

3月には 昨年の成績より 国内プロカテゴリーのレース「富士クリテリウムチャンピオンシップ」にチームとして招待され 岡崎選手が出場しました 勝負まで至りませんでした が チームのアピールを果たすことができました



JBCF 袋井掛川レース 岡崎選手 落車 擦過傷程度

(E1 カテゴリー) DNF

以降 岡崎選手のリザルト

4月

東京都社会人ロード (修善寺) 5km×10周+4km = 54km

(プロカテゴリー) 4位



チャレンジロードレース（修善寺）5km×7周+4km = 39km （ジュニア）7位
JBCF 東日本ロードクラシック群馬 6km x 23周 = 138km （E1 カテゴリー）16位

5月

AACA トレーニングレース（ALLフラット 100km）岐阜県長良川
JBCF 大磯クリテリウム 1.0km×30周 = 30km （E1 カテゴリー）14位

Trophée Morbihan Juniors (仏) ネイションズカップ フランス遠征（日本代表）
3ステージ（3回レースし総合で競うステージレース） 総合順位 84位
（1st:128 km/102位 2st:7 km/(タイムトライアル)104位 3st:115 km/84位）

6月

JBCF 修善寺ロード 8km x 14周 = 112km （プロカテゴリー）DNF
JBCF 群馬（群馬サイクルスポーツセンター） 2連戦
1日目 6km x 13周 = 78km 9位
2日目 6km x 14周 = 84km 落車（最終盤での落車） DNF

全日本選手権（U19ジュニアカテゴリー）京都美山町 10.3km×8周= 82 km 59位



スタートから（岡崎）集団を抜け出し逃げ 後続を1分以上引き離し先行 周回を重ねる
追走集団に追いつかれ 更に逃げを繰り返す 再度後方を1分離す走りでしたが
最終回に 追走グループに追いつかれ 力尽き集団からも脱落しゴール

終始逃げ続ける走り 集団（後続）を引き離す走り 欧州のジュニアレースでは重要な走りはできましたが 降りでのテクニック トップスピード 最高巡行速度 課題は明確

7月

JBCF 石川 2 連戦 (クリテリウム ロードレース)

クリテリウム 1.8km×15 周 = 27.0km

(ジュニアカテゴリー) 3 位



終始各選手の掛け合い 岡崎も積極的な展開 脚を使い合うようなレースとなり 終盤の逃げが決まり優勝選手 後続 2 位 3 位 (岡崎) 追いつかず単独でゴール その後は集団

ロードレース 13.6km×6 周 = 81.6 km

(ジュニアカテゴリー) 6 位



スタートから (岡崎を含め) 4 人で抜け出す 2 分あまり集団から先行 猛暑で各選手スピードが上がらず 後方集団から追走組 (上位 3 選手) 後半追走に追いつかれ 集団もバラバラ 各選手それぞれ単独で走り切りゴール 完走 9 名のサバイバルレースとなった (1 位から 5 位までの選手は 前日のクリテを走っていない選手) 昨日のクリテを走っている選手 まだ脚の疲れが回復していない走りとなった

【まとめ】

今季トレーニー（練習生）として加わっている 平野選手 学業とアルバイト（一人暮らし）なかなかスケジュールが組めず 結果を残すことができていません 継続しまして指導してまいります

3年前 中学3年のオフシーズン「レムコになりたい」とチームの門を叩き インタビューを経て入団した岡崎選手（レムコ エベネプール/ EVENEPOEL Remco ベルギー 現 22 歳 2022 年世界チャンピオン 本年度年俸 10 億円 ワールドプロツアー選手）

ここから3年計画の今季3年目 昨年末の沖縄合宿から（育成期最終時期に向け）脚とカラダを創る練習を経て順調にシーズンに入りました

ただ岡崎本人「（欧州の）プロになる」「来年は欧州へ行きたい」こうした意識が高まりすぎ メンタル面での「焦り」が先行してしまい レースでの走り 勝ちを焦る走りから安定しないレース内容が続いてしまい 結果リザルトにもつながらない

フランスのネイションズカップでも レースでは終始 集団前方での展開で走ることができていながら メンタル面での安定に欠け リザルトにつなげることができませんでした（帯同していたナショナルの監督からも 同様のコメント 私に報告がありました）

帰国後 時間を掛け話しを交わし 具体的な進路や そのためのプロセスなど またレースでの走り 実践的専門的な走り方を説き 多くの時間を使い 精神面での焦りを解く

6月の群馬のレースから ようやく覚醒 岡崎の走りが際立つ展開のレース 常にメンタル面からの先行 怖がらず（勇気をもって）脚を使いに行くレース展開 その後の全日本 また石川の2連戦と 順位的には残せませんでした 同レースを走っている選手が認めざるを得ない強さ そのレース内容であったと評価します

しかしまだ メンタル面を含め フィジカル面に至っても まだ育成途中 トレーナーとしての診たてから 専門的にも これから更に伸びる段階だとも判断します

現段階「JPT」で闘うレベルではありませんが 後半戦のレースにて 伸びるレールを外れることが無ければ 来季よりコンチネンタルのレベルに達する その過程とも評価する

岡崎選手の 今季の練習計画データ（2022年12月～2023年7月）

https://charipro.com/public/assets/img/YmanakakoCT/Okazaki_ScheduleBook2022.12_2023.07.pdf

（または 送付しましたメールに記載の URL より アクセスし ご覧ください）

【後半戦スケジュール】

8月 山中湖チーム合宿（詳細は別途）

| | | | | | |
|----|-----|---|-------|------------------|-----------------|
| 9 | 2 | 土 | JBCF | 舞洲タイムトライアル | 大阪 舞洲スポーツアイランド |
| | 3 | 日 | JBCF | 舞洲クリテリウム | 大阪 舞洲スポーツアイランド |
| | 17 | 日 | JBCF | 南魚沼クリテリウム | 新潟県・南魚沼市 |
| | | 月 | | | |
| | 18 | 祝 | JBCF | 南魚沼ロードレース | 新潟県・南魚沼市 |
| | 23- | | UCI | アジア選手権ロード | 中国・杭州 |
| | 23 | 土 | JBCF | 群馬 CSC ロードレース | 群馬県・群馬 CSC |
| | 24 | 日 | JBCF | 群馬 CSC ロードレース | 群馬県・群馬 CSC |
| | | | | | |
| 10 | 8 | 日 | KINAN | AACA | 愛知県新城市鬼久保ふれあい広場 |
| | | | | | |
| | 14 | 土 | JCF | ジャパンカップ・ロード オープン | 栃木県・宇都宮市 |
| | 21 | 土 | JBCF | タイムトライアル | 茨城県かすみがうら |
| | 22 | 日 | JBCF | ロードレース | 茨城県かすみがうら |
| | | | JC+ | | |
| | | | Hb | 四日市 全国ジュニア | 三重県・四日市市 |
| | 28 | 土 | KINAN | AACA | 岐阜県海津市長良川 |

今後 8月の夏合宿（山中湖）より 後半戦を闘うための準備をしてまいります

2023年7月

SD 齊藤 清史：報告

Yamanakako Cycling Team

479-29 Hirano Yamanakako-mura Minamitsuru-gun Yamanashi 401-0502 Japan
yamanakako.ct@gmail.com